

ときひがの子



校長だより
令和2年
3月19日
第41号
特別号



在校生が作ったアーチをくぐる卒業生＝岡崎市の常磐東小で

前倒し送る会

6年生万感

岡崎市の常磐東小学校で二十八日、在校生らが卒業生の門出を祝う「六年生を送る会」があった。新型コロナウイルスの感染拡大を受け三月二日から春休みまで全国一斉に休校の見通しとなり、同校は六日予定の送る会を急ぎ前倒しにした。突然訪れた別れに涙を流す児童もいた。

安倍晋三首相はこの日、全国の小中高校などに臨時休校を要請する考えを改めて示した。送る会の

一斉休校見通して岡崎・常磐東小

開催が危ぶまれる中、朝の職員会議の前、六年生担任の女性教諭（西）が「あまりにもかわいそうだ」と目を潤ませながら訴えた。近藤嗣郎校長も「子どもたちの楽しみを奪えない」と開催を決めた。

送る会には卒業生六人と一〜五年生四十人が参加。尻文字クイズや、六年間を振り返るスライドショーなどの出し物があった。最後はみんなで歌手の米津玄師さんが手掛けた「パプリカ」を歌った。六年の青山翔大さん（こ）は「休校と聞いてショックだった。それでも会を開いてくれてすごうれしかった」と笑顔を見せた。

（鎌田旭昇）

中日新聞

令和二年二月二十九日（土）

令和2年3月1日(日)付



岡崎市常警東小学校
で二十八日、六年六人が一年間取り組んできた防災学習の成果を発表する「防災集会」が開かれた。写真。学区内に県が指定する土砂災害警戒区域が百七十七カ所あることも

あり、二〇一三（平成二十五）年度から防災学習に力を入れる同校。今年度の六年は日本赤十字社から講師を招いた防災減災授業をはじめ、高学年の心肺蘇生法訓練、土砂災害マイタイムラインづくり、通学路になつている大柳町、新居町、安

戸町の危険箇所を調べ「まちあるき」、三町の高齢者を対象に行った出前防災発表、長野市信里小学校とのテレビ防災会議などに取り組んできた。この日は六年が今年度の活動を振り返った上で、学区住民に昨年八月に実施したアンケートで土砂災害・河川氾濫で「避難せずに自宅にとどまる」との回答比率が高かった結果

を踏まえ、自宅にとどまる場合に備えて作成した家屋補強のチェックリストを発表した。「みんなでやってみよう」と題して、学年別に被災初日を過ごすために最低限必要な物品を選択する体験もあった。六年の女兒は「防災学習を通して地域と深く関わる事ができた。防災はたっさんの人に支えられて成り立

協力して地域を守る 6年生が防災学習成果を発表

岡崎市常警東小

っていることを知り、これからも協力して自分たちの地域を守っていきたい」と話した。



発行所
東海愛知新聞社

東海愛知新聞が二日連日掲載

新型コロナウイルスの影響で二月二十八日が最後の授業日となった。特別に変更し、四時間目は、「六年生を送る会」を在校生が発表し、五時間目は「防災発表」を六年生が予定通りの発表した。

令和2年2月29日(土)付

少し早いお別れ？ 岡崎市常警東小 6年生を送る会前倒し



岡崎市常警東小学校で二十八日、「六年生を送る会」が開かれた。三月二〜二十四日の臨時休校を受けて、六日に予定していた会を前倒しした。会は短縮版で行われたが、六年間を振り返るスライドショーや六年生へのメッセージボードなどが披露された。最後は卒業式で使用する予定だった手作りアーチの中を六年生六人が通った。写真。青山翔大君（三）は「在校生に会えるのがきょうで最後だと思つと残念。送る会はとてもうれしかった」と話した。近藤嗣郎校長は「突然のことではバタバタだったが、できることはやろうと思った。心温まる会だった」と涙を流して振り返った。